

# NEWS

## 第10回「安全大会」開催

本大会の内容は、  
協会 HP → 会員専用ページ  
→ (一社)愛知県産業資源循環  
協会 → 安全衛生委員会内にて  
視聴可能です。

- ・日 時：令和5年2月2日（木）  
午後1時30分
- ・場 所：名古屋国際会議場  
141・142会議室(名古屋市熱田区)  
(YouTubeによるライブ配信併用開催)
- ・参加者：58名（49社）

職場の安全衛生の向上を目的とした第10回「安全大会」は、東久保真弓安全衛生委員の司会進行にて始まり、開会のことばを山本英之安全衛生委員が述べ、永井良一会長の開会の挨拶、伊藤泰雄安全衛生委員長長の挨拶、来賓挨拶は愛知労働局労働基準部安全課主任地方産業安全専門官 伊藤敏彰氏が述べました。

「講演会」は、『災害事例から学ぶ労働災害防止～墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ防止対策～』と題して、中央労働災害防止協会（中災防）中部安全衛生サービスセンター安全管理士 戸田準氏より、労働災害発生状況、労働安全衛生法の基礎知識、墜落・転落防止対策について、はさまれ・巻き込まれ防止対策について講演がありました。

中でも、墜落・転落防止対策については、①高所作業をなくす。作業床を設ける ②開口危険部には、囲い・手摺・覆いを設ける ③安全な昇降設備を設ける ④保護具（墜落制止用器具）を使用する、などの具体的な対策や保護具の種類、ランヤードの取付設備等への取付け方法、保護帽について説明がありました。

「安全衛生活動の取組事例発表」では、(株)ダイ



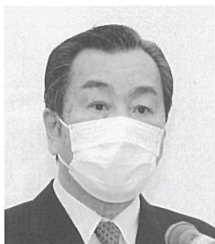
セキ安全管理部課長代理 阿部竜太氏が、『当社における安全活動の推進の取り組み』と題して、同社における事故の特性、過去の事故（労災・漏洩、反応）の要因から見直すべきこととして、①安全管理組織体制の再構築 ②事故発生時の対応の強化 ③KY・リスクアセスメントの再構築について話されました。

まとめとして、情報共有を図り組織的に事故防止を図る、真因を明らかにし再発防止につなげる、危険に対する意識を上げる、が事故に先回りして事故撲滅につながるとのことでした。

次に、丸う運輸（株）常務取締役 伊藤彰英氏が、『安全衛生の取り組み・事故ゼロへの挑戦』と題して、同社の安全への取り組みとして、①出発前点呼の強化 ②日常点検の強化 ③ドライバーミーティング ④フォークリフト講習 ⑤荷台からの滑落防止 ⑥健康診断⑦熱中症対策、について説明されました。

今後の取り組みとして乗務員の意識向上に向け、運行ルールの危険箇所指導、安全運転技術の向上、適性検査実施後の乗務員ごとの指導、脳ドッグ・心臓ドッグの受診を行うとのことでした。

続いて相木徹安全衛生副委員長と共に安全宣言を一斉唱和し、閉会のことばを石川太一安全衛生委員が述べ閉会となりました。



開会挨拶をする  
永井会長



挨拶をする  
伊藤安全衛生委員長



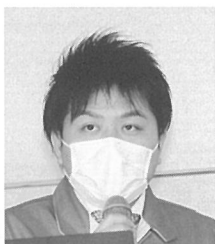
来賓挨拶をする伊藤主  
任地方産業安全専門官



講演をする  
戸田安全管理士



事例発表をする(株)  
ダイセキ 阿部課長代理



事例発表をする 丸う運輸  
(株) 伊藤常務取締役